

関係各位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会  
(事務局：J A 福岡中央会 担い手・営農サポートセンター)  
(公 印 省 略)

## 緊急営農情報

# 降雨に対応した麦の収穫作業について

今年産麦は、大麦・はだか麦の収穫開始以降、断続的に降雨と曇天が続いており、麦の収穫作業への影響や穂発芽による品質低下などが懸念されます。今後も曇りや雨の日が多いことが見込まれているため、ほ場の状況や気象情報に留意しながら今後の作業を進めて下さい。

## 1 排水対策

今後の降雨に備え、ほ場内から確実に排水できるよう、うね溝等の溝さらえや排水口の整備を行いましょよう。

## 2 適期収穫のための体制整備

- (1) カントリーエレベーターやライスセンターは、計画的な荷受け体制を整えましょよう。
- (2) あらかじめ、ほ場毎の登熟状況や倒伏、穂発芽等の被害状況を把握することに努め、効率的に収穫作業が進むように刈取り計画を作成ましょよう。
- (3) 収穫適期の見極めとそれに合わせた作業員の確保のため、週間天気予報等を確認しながら最新の気象情報を把握ましょよう。

## 3 収穫、荷受けに関する留意点

収穫、荷受けに際しては、以下のことを十分留意ましょよう。

- (1) 収穫可能なほ場は、天候回復後、子実が乾き次第、直ちに収穫ましょよう。
- (2) 高水分の麦は、収穫後に穂発芽や赤かび病が発生する恐れがあるため、直ちに乾燥ましょよう。
- (3) 倒伏程度が大きいほ場や穂発芽、赤かび病が多発しているほ場は、別収穫、別荷受け、別乾燥を行いましょよう。
- (4) 著しい倒伏で収穫が困難となった場合は、農業共済組合に相談ましょよう。
- (5) 施設における麦の荷受け・乾燥・貯蔵作業の留意点については、別紙を参考にしてください。「C・E情報No.152（令和3年3月全国農協カントリーエレベーター協議会発行）」より抜粋。

以上